

令和4年度 事業計画書

(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)

高岡法人会は、「税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する、経営者の団体である」という法人会の理念に基づき、公益事業を中心に諸活動を展開してまいりました。

令和4年度は、創立70周年の節目の年であり、記念式典、記念事業を実施するほか、過去の活動実績を踏まえ、以下に掲げる諸施策に取り組んでまいります。

□ 公益関係

1 税知識の普及と納税意識の高揚並びに税の提言に関する事業

(1) 税法税務に関する説明会・研修会・講演会事業

会員はじめ広く一般の企業及び市民を対象に、税法・税務を中心とした説明会・研修会・講演会・セミナー等を実施し、税知識の普及による納税意識の高揚に努めます。

また、「法人会自主点検チェックシート」の普及推進にも努めます。

(2) 税の広報事業

会報誌「ほうじんHIT」及び当会のホームページを通して、税法・税務に関する情報を発信し、会員のみならず、広く一般市民への税情報の提供にも努めていきます。

また、「e-Tax」「ダイレクト納付」「マイナンバーカード」の普及活動、「税を考える週間」のPR活動など税務支援にも努めます。

(3) 税の啓発及び租税教育事業

次代を担う児童や生徒に「租税教室」や「租税教育バス」を通じて、税金の仕組みや役割などを理解してもらうために積極的に租税教育事業に取り組みます。

また、全国一斉活動事業である女性部会の「税に関する絵はがきコンクール」について積極的に取り組みます。

(4) 税制改正の提言

我が国経済は新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により未曾有ともいえる危機的事態に陥ったが、来年度には流行の収束が見込まれているほか、企業収益をはじめとして経済社会もコロナ前の状態に戻りつつある。このため、ポストコロナに向けた戦略をどう構築し実行していくかが最も問われている。

さらに強調したいのは、たとえコロナ禍が収束に向かったとしても、その後遺症は小さくないということである。とくに中小企業は長期にわたってコロナ禍の影響を直接的に受け、対応は限界に達している。地域経済と雇用を担う中小企業が立ち直れなくなれば、我が国経済は土台から揺らぐことになる。税財政や金融面からの実効性ある対策が急務である。

法人会では、こうした点を踏まえ「税制改正についての提言」をまとめ、その趣旨が実現されることを強く期待し、高岡法人会も「令和5年度税制改正に関する

提言」に対して会員の声を聞き、意見を取りまとめ全法連に提出し、法人会の総意として、令和4年11月の「税を考える週間」に合わせ提言活動を行います。

2 地域企業の健全な発展、社会貢献事業

政治、経済・経営や年金・労務など幅広い分野での研修会・セミナー・講演会を開催するとともに、地域との共生を目指した社会貢献活動を展開し、地域企業並びに地域社会の健全な発展に資する事業を展開します。

□ 共益関係

1 会員のための福利厚生事業

法人会の福利厚生制度は、会員企業にとって、経営者の不測の事態や、企業が災害に遭う等のリスクに備えることにより、経営を安定させるだけでなく、社員の福利厚生の充実にもつながります。法人会としては、財政基盤の安定化と事業活動の充実を図るため、取扱保険3社及び組織委員会と連携し、福利厚生制度のPR活動に積極的に取り組みます。

2 会員増強・会員支援事業

(1) 組織の充実・強化

組織基盤の確立に向けて、会員数の純増を目指し、親会・青年部会・女性部会役員が一丸となって、税理士先生、取扱保険3社の協力のもと会員増強に努めてきましたが、令和3年12月末現在2,274社（令和3年3月末比△41社）という危機的状況を迎え、従来以上に、各支部及び厚生委員会と連携を図りながら会員増強に努めます。

(2) 会員支援事業の充実

支部及び会員交流の充実を図るとともに会員増強に繋がる事業を企画していきます。各支部及び各委員会と連携を図りながら、会員交流支援をより活発に推進することにより、会員メリットを実感してもらえよう努めます。

(3) 青年部会・女性部会の充実

- ① 青年部会活動の大きな柱である「租税教育活動」及び「健康経営」について、より積極的な展開を図ります。
- ② 女性部会は、社会福祉施設への寄付などの社会貢献活動のほか、税の啓発活動として「租税教育バス」、「租税教室」、「税に関する絵はがきコンクール」を積極的に推進します。

□ 管理関係

1. 諸会議

各委員会における委員の建設的な意見により、一層の活動の充実に努めます。

2. コスト削減

コスト削減に努めると共に、公益法人会計に添った経理処理を行います。